

NYマーケットレポート(2013年8月22日)

昨夜のNY外国為替市場は、序盤に発表された米新規失業保険申請件数が予想より悪化したことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなりました。しかし、その後に発表された住宅価格指数や景気先行指数が市場予想を上回ったことから、一転して堅調な動きとなりました。その後、下げる場面もありましたが、堅調な株価動向や、指標結果を受けて米量的緩和の早期縮小観測が強まったとの見方から、投資家のリスク志向の動きも強まり、ドル円・クロス円は底固い展開が続きました。そして、ユーロは、ユーロ圏の景況指標が改善したことを材料に、欧州市場から主要通貨に対して堅調な展開が続きました。

2013/8/22 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	98.22	98.34	97.60
EUR/JPY	131.14	131.19	130.30
GBP/JPY	150.24	153.58	152.67
AUD/JPY	88.52	88.62	87.41
EUR/USD	1.3353	1.3359	1.3321

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	98.81	98.22
EUR/JPY	131.65	131.13
GBP/JPY	153.80	153.23
AUD/JPY	88.79	88.50
EUR/USD	1.3365	1.3298

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	13365.17	-59.16
ハンセン指数	21895.40	+77.67
上海総合	2067.12	-5.84
韓国総合指数	1849.12	-18.34
豪ASX200	5075.75	-24.24
インドSENSEX指数	18312.94	+407.03
シンガポールST指数	3089.40	-19.59

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6446.87	+56.03
仏CAC40	4059.12	+44.03
独DAX	8397.89	+112.48
ST欧州600	303.49	+2.88
西IBEX35指数	8629.70	+167.90
伊FTSE MIB指数	17309.84	+431.91
南ア 全株指数	43014.44	+252.07

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	98.74	98.78	98.41
EUR/JPY	131.91	131.91	131.26
GBP/JPY	153.97	153.97	153.45
AUD/JPY	89.06	89.19	88.64
NZD/JPY	77.40	77.45	77.00
EUR/USD	1.3361	1.3374	1.3311
AUD/USD	0.9021	0.9043	0.8986

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	14963.74	+66.19
S&P500	1656.95	+14.15
NASDAQ	3638.71	+38.92
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	12674.35	+101.27
ボルサ指数	41036.76	-421.40
ボベスパ指数	51397.66	+992.46

8/23 経済指標スケジュール

14:00	【シンガポール】7月消費者物価指数
15:00	【独】2Q GDP
17:30	【英】2Q総合事業投資
17:30	【英】2Q GDP
17:30	【英】7月BBA住宅ローン承認件数
21:30	【カナダ】7月消費者物価指数
22:00	【メキシコ】7月失業率
23:00	【欧】8月消費者信頼感
23:00	【米】7月新築住宅販売件数
23:00	【メキシコ】2Q経常収支

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1370.80	+0.70
NY 原油	105.03	+1.18
CMEコーン	487.50	-10.50
CBOT 大豆	1322.00	-11.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.39%	0.37%
3年債	0.81%	0.77%
5年債	1.68%	1.64%
7年債	2.32%	2.30%
10年債	2.88%	2.89%
30年債	3.87%	3.92%

主要会場・講演・その他予定

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

ここまでの動きドル/円の動き



(出所: ネットダニアー)

- ①米量的金融緩和を早期に縮小するとの思惑から、日米の金利差拡大を意識した円売り・ドル買いが優勢となり、序盤のドル/円は小動きながら堅調な動きとなった。
- ②下落して始まった日経平均株価が、安値から160円以上下げ幅を縮小したこと から円が売られ、ドル円・クロス円は一段の上昇となった。
- ③取引材料に乏しく、レンジ内のもみ合いの展開が続いた。
- ④米量的緩和の早期縮小観測や、ドイツや欧州の経済指標が予想を上回ったこと、欧州株価が堅調な動きとなったことから、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いている。

21:00

ドル/円 98.66 ユーロ/円 131.31 ユーロ/ドル 1.3311

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6446.57	+55.73	ダウ INDEX FUTURE	14884	+37
仏 CAC40	4055.04	+39.95	S&P500 FUTURE	1642.20	+5.70
独 DAX	8374.31	+88.90	NASDAQ FUTURE	3079.50	+17.00

(出所: ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 新規失業保険申請件数 33.6 万件（予想 33.0 万件・前回 32.3 万件）前回発表の 32.0 万件から 32.3 万件に修正
- ・ 失業保険継続受給者数 299.9 万人（予想 296.5 万人・前回 297.0 万人）前回発表の 296.9 万人から 297.0 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《新規失業保険申請件数・継続受給者数》

申請件数 ・ ・ ・ 前週比 ・ ・ ・ 4 週移動平均 ・ ・ ・ 受給者数 ・ ・ ・ 受給者比率

13/08/17	336,000	+13,000	330,500	*****	*****
13/08/10	323,000	-12,000	332,750	2,999,000	2.3%
13/08/03	335,000	+7,000	336,000	2,969,000	2.3%
13/07/27	328,000	-17,000	341,750	3,023,000	2.3%
13/07/20	345,000	+9,000	345,750	2,951,000	2.3%
13/07/13	336,000	-22,000	346,500	3,003,000	2.3%
13/07/06	358,000	+14,000	351,250	3,116,000	2.4%
13/06/29	344,000	-4,000	345,750	3,027,000	2.3%
13/06/22	348,000	-7,000	346,250	2,953,000	2.3%
13/06/15	355,000	+19,000	348,500	2,987,000	2.3%
13/06/08	336,000	-10,000	345,750	2,966,000	2.3%
13/06/01	346,000	-11,000	352,500	2,991,000	2.3%

受給者数は集計が1週間遅れる



(出所: ネットダニアー)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 6 月カナダ小売売上高（前月比） -0.6%（予想 -0.4%・前回 1.8%）前回発表の1.9%から1.8%に修正
- ・ 6 月カナダ小売売上高[除自動車] -0.8%（予想 0.0%・前回 1.1%）前回発表の1.2%から1.1%に修正

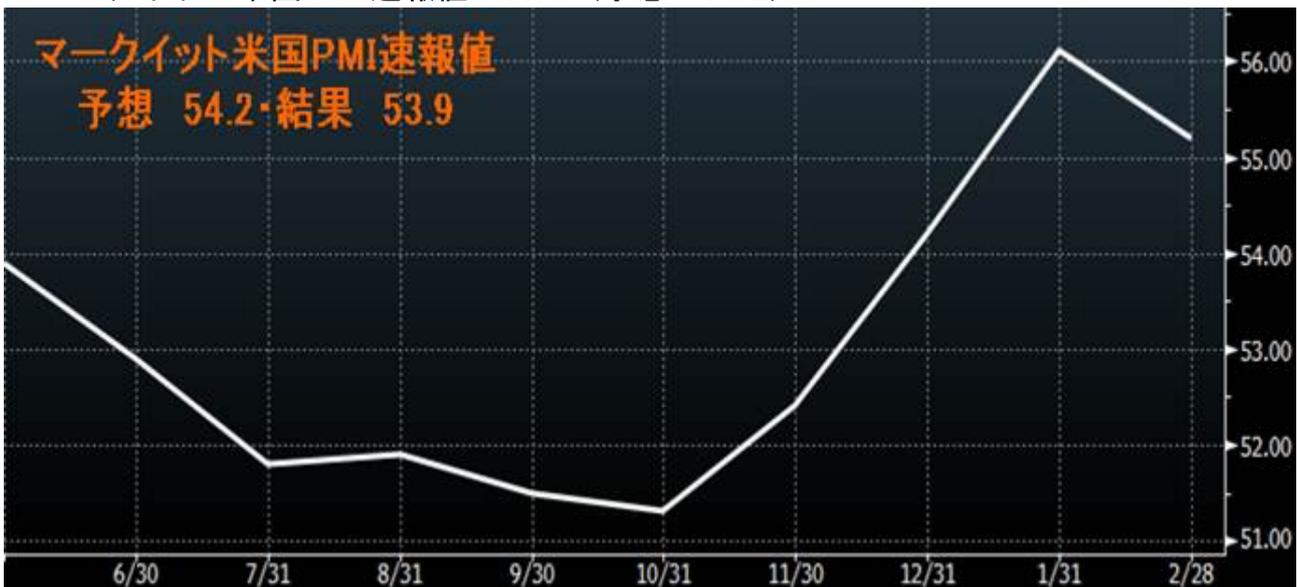


(出所:ブルームバーグ)

21 : 58

《 経済指標の結果 》

- ・ マークイット米国 PMI 速報値 53.9（予想 54.2）



(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

- ・ 6月米住宅価格指数（前月比） 0.7%（予想 0.6%・前回 0.8%）前回発表の0.7%から0.8%に修正
- ・ 2Q米住宅価格指数（前期比） 2.10%（予想 2.45%・前回 2.26%）前回発表の1.95%から2.26%に修正



(出所:ブルームバーグ)

22 : 00

《 経済指標の結果 》

・ 8月メキシコ消費者物価指数（隔週） 0.26%（予想 0.16%・前回 -0.02%）



（出所：ブルームバーグ）

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、米量的金融緩和の早期縮小観測が広がっていることを背景に、アジア市場から日米金利差の拡大を意識した円売り・ドル買いが優勢となっていた。米失業保険申請件数が市場予想をやや上回ったことから、ドルはやや下げる動きも見られた。

22 : 33

米主要株価

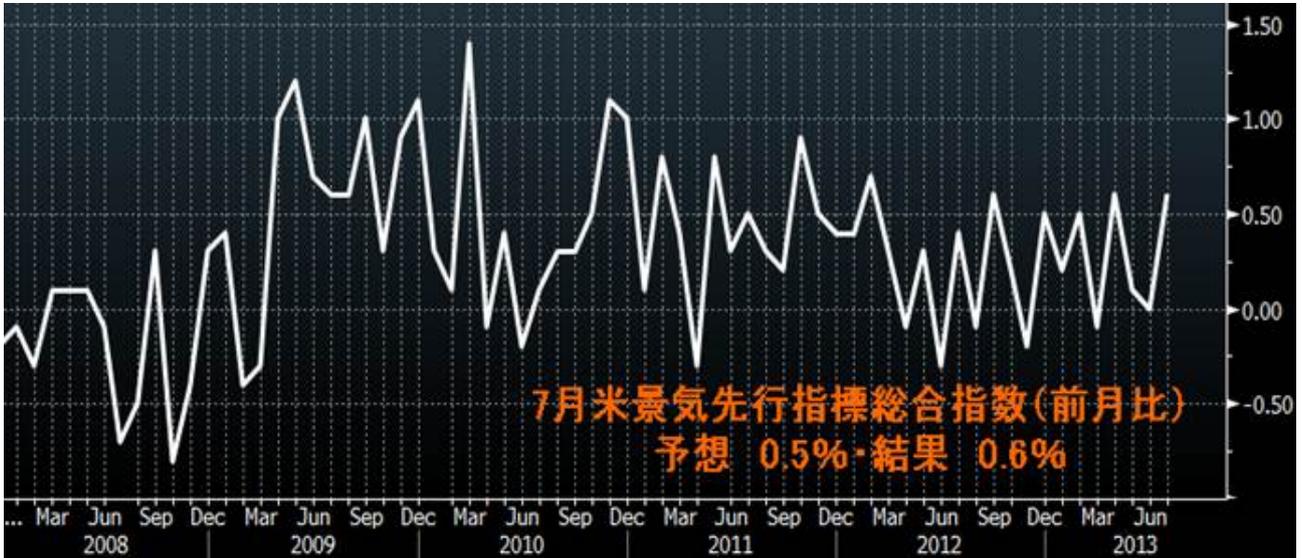
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	14909.23	+11.68
ナスダック	3617.06	+17.27

（出所：ブルームバーグ）

23 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

・ 7月米景気先行指標総合指数（前月比） 0.6%（予想 0.5%・前回 0.0%）



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

≪米景気先行指数≫

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
先行指数	0.6	0.0	0.3	0.8	-0.3	0.5
一致指数	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.7
遅行指数	-0.2	0.2	0.3	0.2	0.0	-0.3

23 : 30

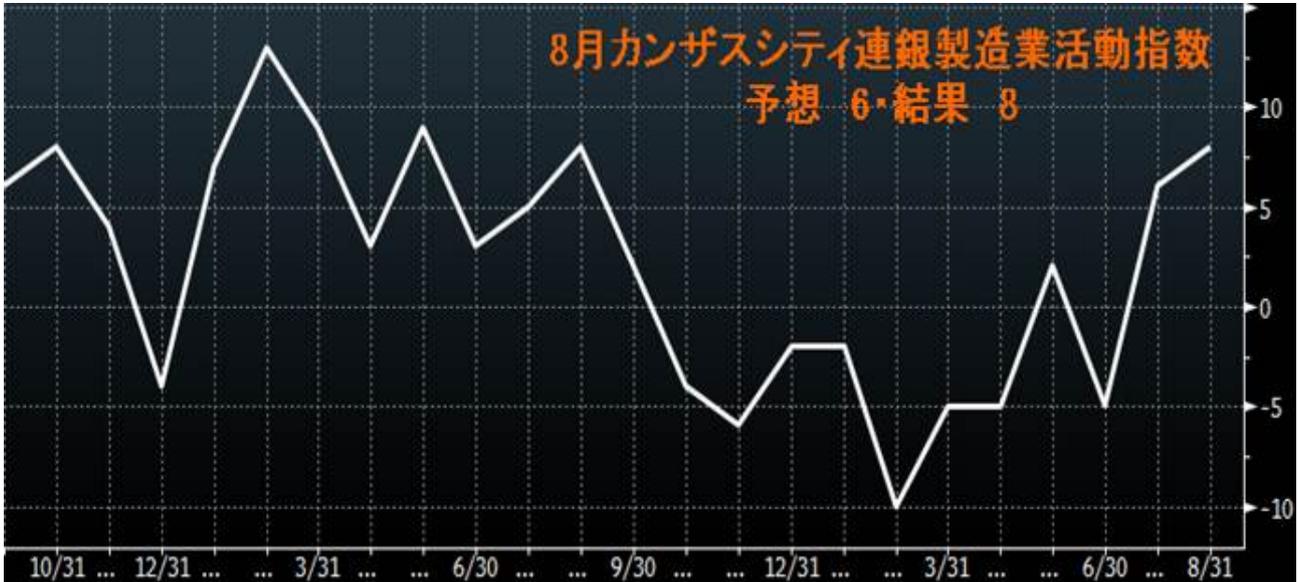
≪ NY 株式市場 序盤 ≫

序盤の株式市場は、前日までダウが6営業日続落したことを背景に、値頃感が出た銘柄を買う動きも見られ、比較的堅調な動きとなっているものの、米 FOMC の議事録公開を受けた米量的緩和の縮小観測を背景にした売りも出て、やや限定的な動きとなっている。

0 : 00

《 経済指標の結果 》

・ 8月カンザスシティ連銀製造業活動指数 8 (予想 6・前回 6)



《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比+1.3万件的の33.6万件となり、7月20日までの週以来の高い水準となった。申請件数の4週移動平均は、前週比-2250人の33万500人で、2007年11月17日以来、5年9ヵ月ぶりの低い水準となった。また、集計が1週遅れる失業保険受給者総数は、前週比+2.9万人の299.9万人となり、7月27日までの週以来の高い水準となった。受給者総数の4週移動平均は、前週比-0.1万人の298万5750人で、6月29日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週から横ばいの2.3%だった。

(2) FHFA (米連邦住宅金融局) が発表した6月の住宅価格指数は、前月比+0.7%、前年同月比で+7.7%となった。地域別では、カリフォルニア州やワシントン州を含む太平洋地域が前年比+17%、ネバダ州やアリゾナ州を含む山岳地域が+11%、ニューヨークやニュージャージー、ペンシルベニアの各州を含む中部大西洋地域は+2.5%と、それぞれ大きな伸びとなった。

(3) 7月の米景気先行指標指数は、前月比+0.6%となり、3ヵ月ぶりの高い伸びとなった。長短金利差や株高などが寄与した。

① 主要10項目のうち、8項目がプラスに寄与した。中でも長短金利スプレッドや株価指数、住宅着工許可件数の貢献が大きかった。このほか、失業保険申請件数や製造業新規受注指数もプラスに寄与。

② 一致指数は+0.2%と6ヵ月連続でプラス。全米経済研究所が景気循環の判定に使用する雇用者数や個人所得、企業売上高などが含まれる。一方、遅行指数は-0.2% (前月+0.2%) となった。

③指数の上昇は、今年下期の経済や雇用の改善を示唆しているものの、最大の不確実要因は引き続き企業の設備投資のペースや世界的な成長鈍化による米輸出への影響が指摘されている。

《ここまでの動き》



(出所: ネットダニアー)

- ①米失業保険申請件数は、市場予想を上回り、7月20日までの週以来の高い水準となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して売られた。
- ②米住宅関連、景気先行指指数が市場予想を上回ったことや、欧米の主要株価が上昇していることを受けて、投資家のリスク回避の動きが後退し、円が主要通貨に対して売られる動きとなった。
- ③円売りが一巡すると、円を買い戻す動きや、London Fixing で円買いの動きも見られ、ドル円は・クロス円は軟調な動きとなった。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6446.87	+56.03
仏 CAC40	4059.12	+44.03
独 DAX	8397.89	+112.48
ストック欧州 600 指数	303.49	+2.88
ユーロファースト 300 指数	1219.04	+11.33
スペイン IEX35 指数	8629.70	+167.90
イタリア FTSE MIB 指数	17309.84	+431.91
南ア アフリカ全株指数	43014.44	+252.07

(出所: ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、ドイツを中心とするユーロ圏や中国で景況指標が改善したことが好感され、主要株価は4営業日ぶりに反発となった。



(出所:ブルームバーグ)

1:00

米主要株価・中盤

ダウ 14944.38(+46.83)、 S&P500 1652.10(+9.30)、 ナスダック 3629.92(+30.13)

《NY債券市場・午前》

・午前の債券市場は、前日の米 FOMC 議事録の受けた緩和策の早期縮小観測が引き続き売り圧力となり、米長期金利の指標となる 10 年債利回りは、一時 2.936%まで上昇し、2011 年 7 月以来約 2 年 1 カ月ぶりの高水準となった。ただ、その後は、米失業保険申請件数が市場予想よりも悪い内容だったことから買い戻しも入り、もみ合いとなった。

・午前の利回りは、30 年債が 3.89% (前日 3.92%)、10 年債が 2.89% (2.89%)、7 年債が 2.31% (2.31%)、5 年債が 1.65% (1.64%)、3 年債が 0.78% (0.77%)、2 年債が 0.37% (0.37%)。

《欧州のポイント》

①トルコ金融市場では、トルコ・リラが対ドルで過去最安値を更新、株式相場も4営業日連続で下げている。トルコ中銀のリラ防衛策が不十分との懸念に、緩和策縮小の道筋への幅広い支持を示した米 FOMC の議事録が拍車を掛けた。リラの対ドル相場は前日比 0.2%安の 1 ドル=1.9832 リラ。1981 年以来の安値となり、年初来では 10%下げている。トルコ中銀は、20 日に上限政策金利である翌日物貸出金利を 0.5 ポイント引き上げ 7.75%とした。主要政策金利の 1 週間物レポ金利は 4.5%で据え置いている。また、トルコ株の指標である ISE ナショナル 100 指数は、前日比 2%以上の下落となり、4 営業日続落。

②オランダ財務相でユーロ圏財務相会合のデイセルブルム議長は、債務危機で財政再建中のギリシャへの支援について、追加策が必要になるとの見通しを示した。EU と IMF によるギリシャへの第 2 次支援は 2014 年末に終わる。デイセルブルム氏は「2014 年にギリシャの問題は解決しない。さらに何かが必要になるだろう」と述べた。ギリシャへの追加支援の有無をめぐっては、ドイツのショイブレ財務相も、必要になるとの見解を示している。

1 : 45

ナスダックのオプション市場は、コンピューター障害ですべての取引を一時停止。

2 : 00

《米 5 物 TIPS 入札》

最高落札利回り・・・-0.127% (前回 -1.311%)
最低落札利回り・・・-0.310% (前回 -1.486%)
最高利回り落札比率・・・93.21% (前回 19.61%)
応札倍率・・・2.18 倍 (前回 2.18 倍)
発行額・・・160 億ドル (前回 180 億ドル)

《 欧州債券市場 》

・欧州債市場は、ユーロ圏のサービス業の経済活動が 1 年 7 ヶ月ぶりに拡大し、域内経済が低迷から脱しつつある兆候が強まったことを受けて、安全資産とされるドイツ国債が続落となった。また、フランスとオランダ、オーストリアの国債も売られた。一方、イタリアとスペインの国債は上昇となった。

・ドイツ 10 年利回りは、前日比 5bp 上昇の 1.92% となり、2012 年 3 月以来の高水準に達した。また、フランス 10 年債利回りは 5bp 上昇の 2.48%、オランダ 10 年債利回りは 4bp 上昇の 2.32%、オーストリア 10 年債利回りは 4bp 上昇の 2.34% となった。そして、英 10 年債利回りは、前日比 1bp 上昇の 2.72%、一時は 2.76% と 2011 年 8 月 8 日以来の高水準となった。

2 : 30

《 要人発言 》

フィッシャーダラス連銀総裁～講演

- ・「FOMC の政策に由来するリスクは多い」
- ・「超緩和政策だけでは製造業を浮揚できない」
- ・「彼らは生産力の向上や事業拡大に必要な極めて安価な金融刺激を十分に与えられてきた」
- ・「妨げ要因となっているのは、公正な振る舞いができない政治家らによる財政および規制だ」
- ・「米国のすべての製造業者は中央銀行から素晴らしいギフトをもらっている」
- ・「それは過去 237 年で最も低い資金コスト、32 年間継続している債券市場の上昇、そして

2009 年 3 月に始まった株式相場の上昇だ」

3 : 30

ナスダックは、すべての取引を NY 時間午後 3 時 10 分（日本時間 4 時 10 分）に再開へ。

3 : 50

NY 金は、中心限月が前日比 0.70 ドル高の 1 オンス=1370.80 ドルで取引を終了した。

4 : 05

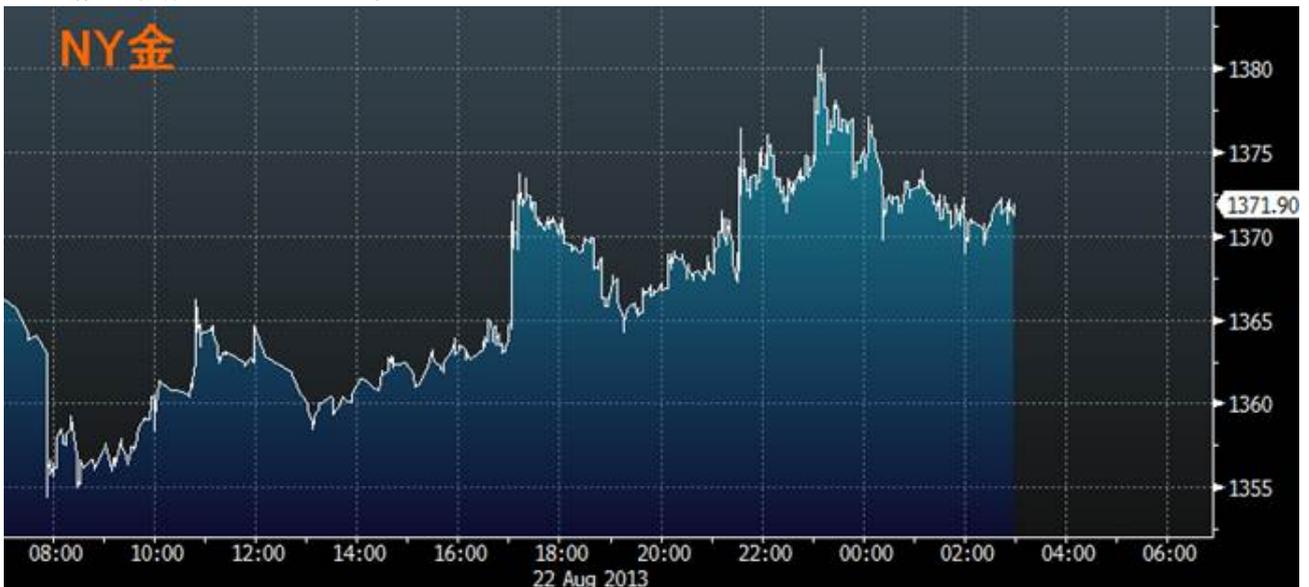
NY 原油は、中心限月が前日比 1.18 ドル高の 1 バレル=105.03 ドルで取引を終了した。

要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1370.80	+0.70
NY 原油	105.03	+1.18

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

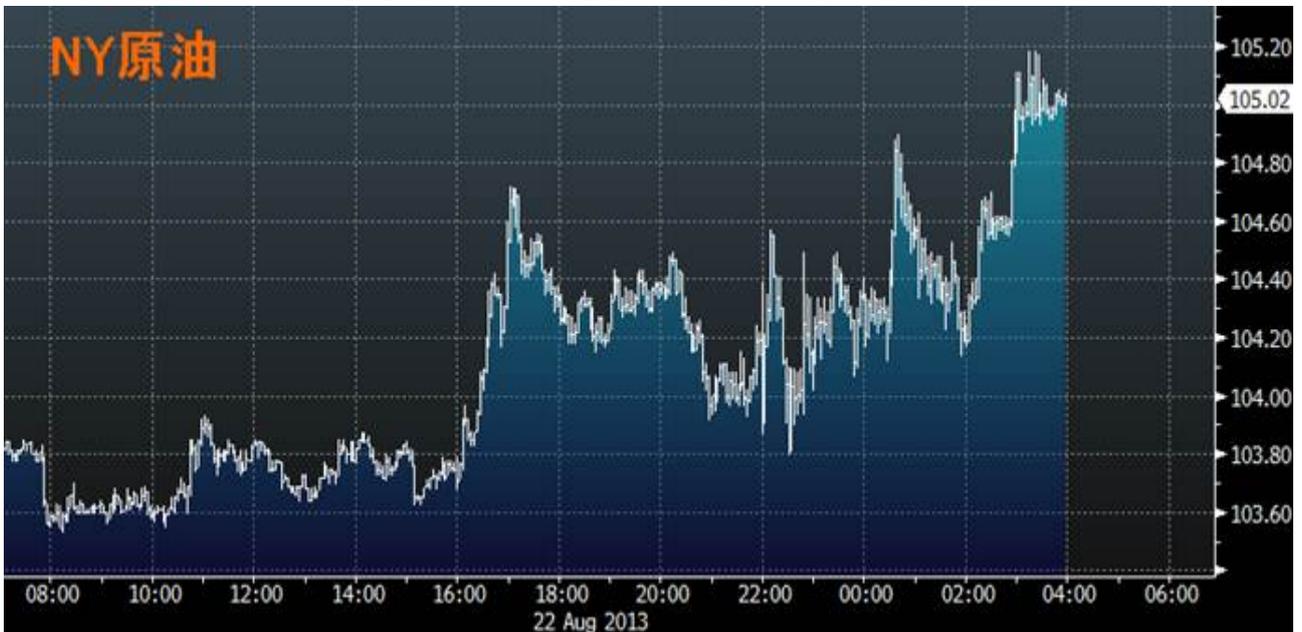
NY 金は、中国の景況感指数が改善したこと手掛かりに、景気回復で需要が増加するとの期待が広がり買いが先行した。ただ、米量的緩和の早期縮小懸念が圧迫材料となり、上げ幅は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、中国の景況感を示す製造業購買担当者指数が4ヵ月ぶりの高水準となったことや、ユーロ圏の景況指標が改善したことを受けて、世界景気の回復ペースが加速してエネルギー需要が伸びるとの見方が強まり、買いが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

5:05

《 要人発言 》

ルー米財務長官～講演

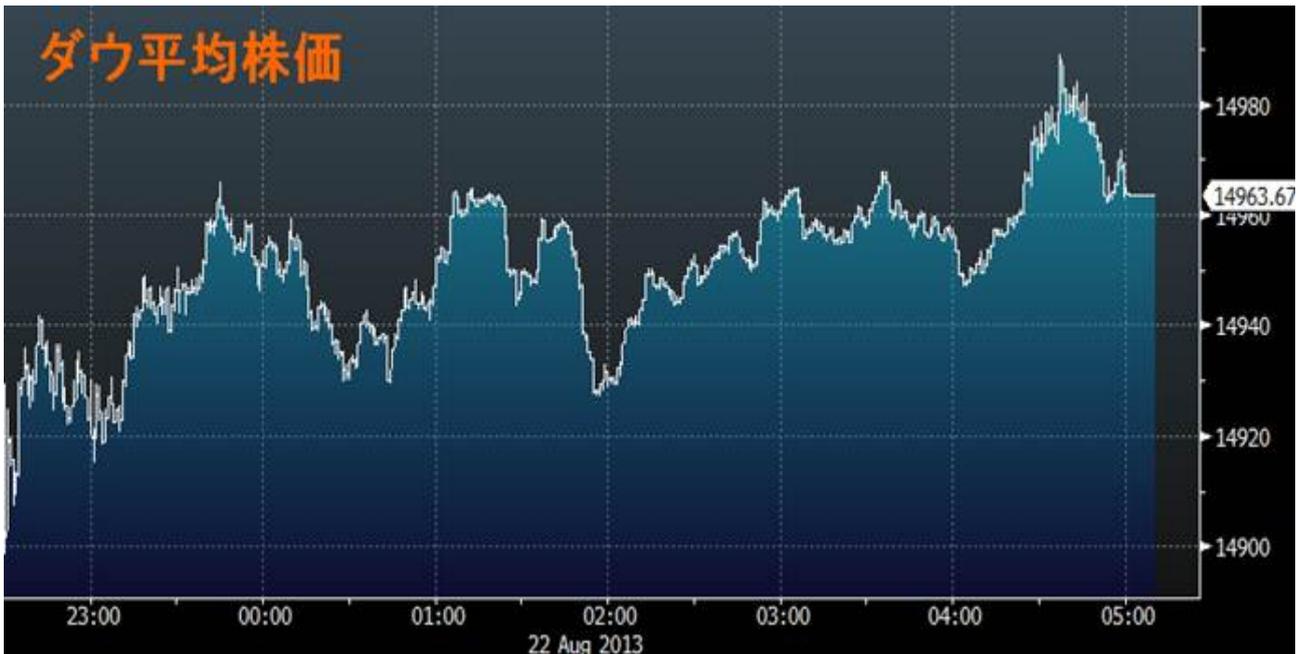
- ・「米失業率は依然として高い」
- ・「11年のような債務上限めぐり議論を繰り返す余裕ない」
- ・「債務上限引き上げが遅れるだけでも悪影響の恐れ」
- ・「債務上限の引き上げに失敗すれば悲惨な結果に」

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	14963.74	+66.19	14989.12	14899.00
S&P500 種	1656.96	+14.16	1659.55	1645.03
ナスダック	3638.71	+38.92	3639.21	3613.93

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、欧州株が堅調な動きとなったことや、米住宅関連や景気先行指数が予想を上回ったことを受けて、主要株価は堅調な動きとなった。ただ、米 FOMC の議事録公開を受けた米量的緩和の縮小観測もあり、やや上値は限定的となった。ダウ平均株価は、前日まで 6 営業日続落したことを背景に、値頃感が出た銘柄を買う動が先行した。しかし、その後は終盤までもみ合いの展開が続いた。なお、ナスダックはコンピューター障害により途中取引停止となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	98.74	98.78	98.41
EUR/JPY	131.91	131.91	131.26
GBP/JPY	153.97	153.97	153.45
AUD/JPY	89.06	89.19	88.64
NZD/JPY	77.40	77.45	77.00
EUR/USD	1.3361	1.3374	1.3311
AUD/USD	0.9021	0.9043	0.8986

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米雇用関連の経済指標が予想より悪化したことから、序盤のドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、住宅関連や景気指数が予想を上回ったことや、株価が堅調な動きとなったことから円が売られ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。その後、軟調な場面もあったが底固い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。